

6. 苅田の大楠



- 所在地 大阪市住吉区苅田 6 丁目 10 番 12 号
- 登録年月日 平成 24 年 3 月 30 日
- 概要 苅田の鎮守様は、草津大歳神社といい、現在の苅田福祉会館のある場所に鎮座していた。大阪市の保存樹に指定されている「苅田の大楠」はご神木。

7. 止止呂支比売命神社



- 所在地 大阪市住吉区沢之町 1 丁目 10 番 4 号
- 登録年月日 平成 24 年 3 月 30 日
- 概要 祭神は素戔鳴命（すさのおのみこと）・稲田姫命（いなだひめのみこと）。創建年代は不明だが神功皇后の創建とも伝えられている。若松神社は地元の愛称で、承久 3 年（1221 年）後鳥羽上皇が行幸、造られた行宮を若松御所と名付けたことに由来。かつては住吉大社の摂社であったが、明治 5 年（1872 年）分離し村社となる。

8. 大阪市立大学（杉本キャンパス）



- 所在地 大阪市住吉区杉本 3 丁目 3 番 138 号
- 登録年月日 平成 24 年 3 月 30 日
- 概要 大阪市の南部、大和川を臨む地にある杉本キャンパスは緑豊かな清々しい環境が魅力の 1 つとなっている。杉本キャンパスのシンボリック的存在である 1 号館（昭和 9 年（1934 年）竣工）は国の登録有形文化財に登録されている。敷地中央にある「学術情報総合センター」は世界的に貴重な書物も含め約 250 万冊の蔵書を有し、教育・研究のための快適な環境を整えている。また、図書市民利用制度を設けており市民も利用できる。他にも八角形の大会議場・展示室等を連なる田中記念館、再生ガラスと透明ガラスを組み合わせた外壁と樹木が融合する高原記念館などがある。

くら 9. 蔵のある住宅



- 所在地 大阪市住吉区墨江 1 丁目 5 番 14 号
- 登録年月日 平成 24 年 3 月 30 日
- 概要 大歳神社から国道 479 号線に向かうとすぐ左手に見られ、白壁と板壁の珍しい造りをしている。白壁と板壁の蔵、カイツカイブキの古木、和風とモダンの住宅が美しく調和している。

おおとししゃ 10. 大歳社



- 所在地 大阪市住吉区墨江 1 丁目 5 番
- 登録年月日 平成 24 年 3 月 30 日
- 概要 住吉大社の境外末社で、祭神は大歳神（おおとしのかみ）。収穫の神であるところから、集金・商売繁盛・家内安全・願望成就に神徳があり、毎月最初の辰の日に参る「初辰まいり」では、種貸社、楠珥社、浅沢神社と参り、ここで集金・収穫に感謝してしめくくる。拝殿右横の石柱の上にある丸い石を「おもかる石」と呼んでいる。

すみよしこやすしぞうじ 11. 住吉子安地藏寺（すみよしのこやっさん）



- 所在地 大阪市住吉区墨江 1 丁目 6 番 7 号
- 登録年月日 平成 24 年 3 月 30 日
- 概要 地藏寺は承応 3 年（1654 年）に僧承圓（しょうえん）が建立したという天台宗の寺院である。本尊の地藏菩薩は、伝教大師作と伝えられ、地元では子安さんと親しまれている。平安時代の木造地藏菩薩立像の優品で、大阪市指定有形文化財に指定されている。門前に百度石、門内に五大力尊像がある。

うえだけしゅうたく 12. 上田家住宅



- 所在地 大阪市住吉区住吉 1 丁目 5 番 20 号
- 登録年月日 平成 24 年 3 月 30 日
- 概要 明治 43 年（1910 年）の建築、瓦葺き切妻屋根、出格子や駒寄せなどの伝統的な町屋の形態を持っている。HOPE ゾーン事業のまちなみ修景補助制度により、改修された。昔の住吉らしいまちなみの面影が感じられる。

くまのかいどう 13. 熊野街道 (HOPEゾーン内)



- **所在地** 大阪市住吉区住吉1丁目～上住吉2丁目
- **登録年月日** 平成24年3月30日
- **概要** 熊野街道は、和歌山県熊野本宮への参詣道で、平安時代から鎌倉時代にかけて「蟻の熊野詣」といわれる程、多くの人々の往来で賑わった。京都から淀川を舟で下り、八軒家(中央区天満橋京町)に上陸した人々は上町台地を縦断、途中所在する「熊野九十九王子(くじゅうくおうじ)」(住吉区では津守王子)と呼ぶ遥拝所をたどりながら熊野三山に至った。

てんのうさんとうふくじ 14. 天王山東福寺



- **所在地** 大阪市住吉区住吉1丁目7番15号
- **登録年月日** 平成24年3月30日
- **概要** 弘法大師が開祖した当時は熊野街道沿いに位置した。本尊の毘沙門天は、楠木正成の千早城における、念持仏といわれている。秘仏のため正月3日間にしかぎっての御開帳が行われている。他にも、室町期の作の四天王が文化財として貴重である。

いけだけじゅうたく 15. 池田家住宅



- **所在地** 大阪市住吉区住吉1丁目9番22号
- **登録年月日** 平成24年3月30日
- **概要** 住吉大社の東参道4つ辻角にあり、表の屋根には高灯籠が置かれている。白壁の虫籠窓、防火防災のため土壁のように柱を壁で厚く覆っている。老舗味噌屋の池田屋本舗として、今でも昔ながらの製法を伝えている。屋根に設置された高灯籠、白壁の虫籠窓等外観だけでも歴史を感じる。現在も昔ながらの製法で味噌作りをしているだけでなく、建屋の保存状態も良く、熊野街道沿いにあるので、江戸期が偲ばれる。国の登録有形文化財に登録されている。

いくねじんじゃ 16. 生根神社



- **所在地** 大阪市住吉区住吉2丁目3番15号
- **登録年月日** 平成24年3月30日
- **概要** 創立は不詳であるが延喜式神名帳(927年)に記載されている。桧皮葺・杵間社流(いっけんしゃながれ)造りの建物で、正面千鳥破風や扉の装飾などに、桃山時代の華麗な様式を残す。江戸時代は住吉大社の摂社であった。生根神社本殿は大阪府有形文化財に指定されている。また、境内のクスノキ、モチノキ、エノキ、ムクノキは大阪市保存樹林に指定されている。

くら やしきまち 17. 蔵のある屋敷町



- **所在地** 大阪市住吉区帝塚山中1丁目、2丁目
- **登録年月日** 平成24年3月30日
- **概要** 帝塚山地区には屋敷町があり、近年の建物が建ち並びの中で和の懐かしい文化を今に伝える家が残っている。帝塚山の住宅開発の100年とともにある蔵。よく手入れされた屋敷に屹立する白壁の蔵がとても美しい。

たか たけしゅうたく 18. 高谷家住宅



- **所在地** 大阪市住吉区帝塚山中3丁目8番18号
- **登録年月日** 平成24年3月30日
- **概要** 国の登録有形文化財及び市登録文化財（建造物）に登録されている。関東大震災を教訓にした大正13年（1924年）頃の建築。耐震・防火を強く意識して鉄骨造り、外壁はレンガとコンクリートブロック積みで、堅固な構造。切妻屋根のてっぺんには風見鶏、二つの屋根窓と煙突が童話のような雰囲気を見せる。

うい りてつかやま 19. WILL帝塚山



- **所在地** 大阪市住吉区帝塚山中4丁目10番14号
- **登録年月日** 平成24年3月30日
- **概要** 第22回（2002年）大阪まちなみ賞（大阪都市景観建築賞）奨励賞受賞。小さい限られた敷地の中で、外には近隣に開かれたギャラリーを角地に持ち、住人には中庭の古い立木を囲んだ共有空間を提供している。先代からの既存の土蔵や庭石を生かした試みは、ともすれば崩れゆく風致地区周辺の住宅地の中で、美しく心地良い凜とした存在になっている。

てつかやまこふん 20. 帝塚山古墳



- **所在地** 大阪市住吉区帝塚山西2丁目31番
- **登録年月日** 平成24年3月30日
- **概要** 市内に残る4古墳のひとつで、5世紀頃の前方後円墳がほぼ原型をとどめているとされる。国の史跡に指定されている。埋葬者は不明だが、この付近に居宅があった豪族大伴金村の墓という説もある。万葉集第9巻1740番に「水江の浦島の子」が載っていることから、地元では浦島太郎の墓として伝承されている。古墳内にはフキ・ワラビ・ゼンマイ・ヤマノイモなどのほか、珍しいカンサイタンポポが群生している。